うちなるパワーを秘めた ダチョウの卵がお肌に作用

肌悩み改善

並外れた生命力を持つダチョウの力のいいところを活かせないか、と考えて行きついたのが、“抗体の利用”というアイデアでした。体の中に入った異物を無力化して、除去しようとするタンパク質の分子、それが抗体です。
ニワトリの卵の 30 倍もの大きさを誇るダチョウの卵からは、自ずと多くの抗体が採取できます。この抗体で深刻な悩みを抱える人を救いたい…そんな思いから、まずアトピー肌用の化粧品づくりがスタートしました。
人間の肌には常在菌と呼ばれるたくさんの細菌がいます。そこには悪い菌ばかりではなく、肌の調子を整えたり、他の細菌の攻撃から皮膚を守る働きをする”善玉菌”も含まれます。ところが従来の殺菌作用のある薬剤は、善玉菌も悪玉菌も一様に殺してしまうタイプのものばかり。
そこで特定の病原菌のみに反応するダチョウ抗体『ダチョウ卵黄抽出液』(特許取得原料)を皮膚疾患用途に応用。悪玉菌だけに作用し、善玉菌はそのまま残すことで、アトピーの症状を緩和することに成功し、多くの支持を得ました。
更に、この技術を応用し、ニキビの原因となる黄色ブドウ球菌やアクネ桿菌のみに反応する抗体を開発、世界で初めて化粧品への配合に成功しました。アトピーやニキビは多くの人を悩ます肌トラブルです。ダチョウの抗体が化粧品レベルでの治療・予防を望む声に応えられるようにと願いながら開発しましたので、ぜひ試してみてください

私が開発者でダチョウ博士の 塚本康浩です！

つかもと・やすひろ /1968 年京都生まれ。獣医学博士。京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授。子供のころからの鳥好きが高じて、獣医学の道へ。大学発ベンチャー「オーストリッチ・ファーマ株式会社」を設立。約 500 羽のダチョウを飼育し、卵からさまざまな抗体を精製、実用化を日々研究中。2009 年産学官連携功労者表彰「文部科学大臣賞」を受賞。2012 年「花粉抗体入りマスク」「アトピー用化粧品」の開発に成功。著書に「ダチョウの卵で人類を救います」(小学館刊)がある。

特許原料「ダチョウ卵黄抽出液」について

1. なぜダチョウ？どこがすごいの？

・驚異の回復力と生命力を持つ鳥

ダチョウは高い自然治癒能力を持っています。たとえば傷を負ったダチョウに傷薬スプレーをしておくと、数日で傷はふさがり、一ヶ月後には新しい皮膚が再生するほどの回復力があります。その生命力を活かしたのが「ダチョウ卵黄抽出液」です。

・地上で一番大きな鳥類のため、卵も最大

ダチョウの卵はニワトリの卵の約 30 倍ほどで平均 1.5kg。大きいものは 2kg を超えます。そのため卵黄から成分を安定して採取できます。

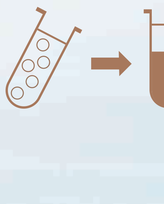
・年間約 80 個もの卵を産む繁殖力

メスのダチョウが年間に産む卵は平均約 80 個。しかもダチョウの平均寿命は 60 年と鳥の中で長寿。安定した成分の供給が可能です。

※ダチョウ卵黄抽出液について：
体内に侵入したウイルスや菌に対し、高い防御効果を発揮するたんぱく質の一種。

2. ダチョウから「ダチョウ卵黄抽出液」を取り出すメカニズム

① 無害化した抗原をダチョウの体内に入れる

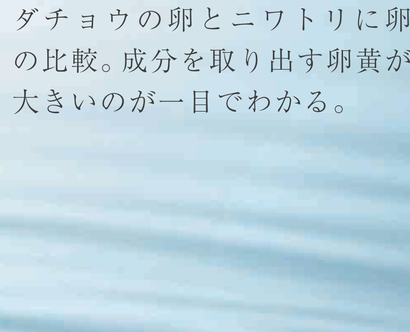


② ダチョウの体内に子孫を守る為の成分(Y の字形)ができ、メスは子孫を守るために卵にその成分を移す

③ 卵を産卵

④ 卵から卵黄だけを取り出す

⑤ 遠心分離機にかけて成分を分離、抽出する



ダチョウの卵黄を取り出す様子。人と対比すると卵の大きさがわかる。

ダチョウの卵とニワトリに卵の比較。成分を取り出す卵黄が大きいのが一目でわかる。